

英語のアポリア

ネイティブが直面した言葉の難問

トム・ガリー〔著〕

9月16日
配本予定

四六判 並製 144頁
定価1,320円(本体1,200円+税10%)
ISBN978-4-327-49026-3 C0082 / NDC:830



ネイティブにも 摩訶不思議な英語の世界

辞典編纂者・語学教師としての長年の言語体験をもとに、「日本人の英語」の奇妙さなどについて綴ったエッセイ。

*アポリア：一般的には、解決できない難問をさす。一つの問いに二つの相反した合理的解答のあること。

〔著者紹介／著者による他の著作等〕
トム・ガリー (Tom Gally)
東京大学教授。カリフォルニア大学サンタ・バーバラ校卒業(言語学専攻)、シカゴ大学大学院修士課程修了(言語学および数学)の後、1983年来日。日英翻訳、辞書編集などに携わり、2002年より東京大学で教鞭を執る。2003年、研究社『新和英大辞典』第5版にて執筆・編集委員。引き続きKOD (Kenkyusha Online Dictionary) の執筆・編集に携わる。著書に『英語のあや』、English for Scientists (研究社)、共著に『東大英単』(東大出版会)、監修に『英語の数量表現辞典』『辞書のすきま、すきまの言葉』(いずれも研究社)など。

目次より

- 英語の不通 (インド英語の体験)
- 英語の問題 (英語と非英語の境界の英語)
- 束縛される英語 (英語の「正しさ」とは?)
- ネイティブの問題 (インド人の問題ある英語翻訳の実例)
- 教育の問題 (『オネーギン』を英語「で」読む)
- 英語の喧嘩 (帆足理一郎の「立派な英語」はどのように立派か)
- 子供の英語
- 試験の英語 (第二言語テスト論、センター試験の問題、TOEIC (R) 等検定試験の問題の問題)
- 機械の英語 (AI 翻訳の驚異的向上は何を意味するのか)

〔類書〕

『英語のあや』 (トム・ガリー 著、研究社、2010年)

新刊 申込書	英語のアポリア ネイティブが直面した言葉の難問		申込数	書店名 (印)
	定価1,320円 (本体1,200円+税10%)	ISBN978-4-327-49026-3 C0082	冊	
お名前	ご住所 〒			
TEL			22.07	